

# Bloomberg.co.jp

## 土屋氏のアトム、香港の日本株ファンドに助言－15－20%目標



9月3日(ブルームバーグ):ヘッジファンド向けの運用助言を専門とする独立系投資顧問のアトム・キャピタル・マネジメントは、9月から新たに海外拠点のファンドへの助言を開始した。このファンドは日本株式での運用が中心で、すでに投資家から1000万ドル(約7億8000万円)を集めている。助言成果として年間収益率15－20%を目指す。

アトム・キャピタルの土屋敦子社長によると、助言先は香港拠点のPFCインターナショナルが運用するヘッジファンド。日本株の買い持ちと売り持ちを組み合わせたロングショート戦略と、業界再編などを売買機会とするイベントドリブン戦略を採用する。アトムではこのファンドに関する助言資産を1年後に1億ドルまで拡大したい考えた。

ファンドの運用では、当初40－50銘柄に投資し、資産の増加に伴って70－80銘柄に拡大する計画。土屋氏は「市場に方向性がない中でも、銘柄選別とマクロ環境を分析した運用により、他社のファンドと相関しない結果が見込める」と安定した運用に自信を見せた。2011年9月から1年間のシミュレーションでは19%の運用収益を上げたという。

アトムは土屋氏らが08年に設立。09年4月まで住友商事の子会社が運営するファンドの運用助言を担当。10年3月から11年春にかけては香港のペンジン・アセット・マネジメント向けの助言に特化していた。今回、新たに助言を開始したファンドも含め、日本株運用での助言を得意としている。

記事に関する記者への問い合わせ先:東京 伊藤小巻 kito@bloomberg.net; Singapore 山崎朝子 tyamazaki@bloomberg.net

記事についてのエディターへの問い合わせ先:Andreea Papuc apapuc1@bloomberg.net

更新日時: 2012/09/03 12:32 JST

© 2012 BLOOMBERG L.P. ALL RIGHTS RESERVED. サービスの要項 | プライバシー保護方針 | 商標について